

事業概要	私たちは、『家族が幸せになれる家をたくさん建てたい！』という思いで、無垢の東濃ひのきを使用した家づくりに取り組んでいます。地元地域に根差し、注文住宅・リフォーム・不動産・家電販売をはじめ、レンタルルーム事業や、地元イベントの開催、地元のママさんイベントの共催を展開しています。
部署	広報
所在地	〒491-0831 愛知県一宮市森本2丁目2-12
連絡先	(電話番号)0586-73-3008 (E-mail)isato@toyo-ie.jp
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	<p>東濃ひのきを活用した家づくりを基軸として、</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 持続可能な森林育成・保護(地場産品・サーキュラーエコノミー)</li><li>● 耐震シェルター工法による地震に強く命を守る住宅の供給(防災・健康)</li><li>● 定期イベントの開催による地域活性化(健康・福祉)</li></ul> <p>を達成する社会を実現します。</p> <p>また、住宅の供給だけではなく、住宅メンテナンス・暮らしの全般サポートを通じて、地域の住環境を豊かにし、安心安全に住み続けられるまちづくりを実現します。</p>



ローカルSDGsの実現  
に貢献できるソリュー  
ション

分野 農林水産業・地場産品／サーキュラーエコノミー／健康・福祉／防災

● 持続可能な森林育成・保護(地場産品・サーキュラーエコノミー)

家づくりの主材料である東濃ひのきは、東白川村森林組合、東白川製材協同組合との連携により、FSC認証に基づく森林管理を実施しており、環境に配慮した取り組みを推進し、住宅に活用する木材のトレーサビリティを確保しています。また東濃ひのきの良さを広く普及すると共に木を適正利用し森林の循環に貢献する為、岐阜県東白川村と包括提携をし、東濃ひのきの家を建てるお客様にその家の柱の全部を「無償提供」するひのき3000本プロジェクトを実施する活動をしています。弊社の家づくりを通じ林業・工業・一般消費者が連携し持続可能な森林づくりに貢献出来ます。



● 耐震シェルター工法による地震に強く命を守る住宅の供給(防災・健康)

木造で優れた耐震性能のある長持ちする住宅がこれからの住まいに必要なと考え地震に強い改良型耐震シェルター工法を独自開発しました。この工法によって家の中のリビングが地震から身を守るシェルターになり、命を守る防災につながります。また、自然素材である木の家づくりは、居住者の健康被害リスクを軽減させます。



ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション

● 定期イベントの開催による地域活性化(防災)

耐震シェルター工法によってつくりあげたモデルハウスでは定期的な地域密着のイベントを開催しています。住宅の供給だけではなく、住宅メンテナンス・暮らしの全般を気軽に相談できる、地域のコミュニティ施設としてイベントを開催しています。また、万が一の際には、地域の避難所として開放しています。



URL <https://www.toyo-ie.jp/>

上記ソリューションを提供できる地域について

愛知県一宮市、岐阜県加茂郡東白川村



自者の特徴

当社は岐阜県加茂郡東白川村と提携し、高密度で粘り強さがある東濃ひのきをふんだんに活用した家づくりをしています。また地震に強い「改良型耐震シェルター工法」の技術開発に成功し耐震実験によりその耐震性を実証しています。また、弊社が取り組んでいる、大径木の東濃ひのきを使った「改良型耐震シェルター工法住宅」の事業計画は、農林水産省・経済産業省・国土交通省から認定された「農商工等連携事業」に平成19年度に認定されています。この事業は、適切に管理された森林資源活用のために、FSC森林認証の普及と推進に取り組む東白川村森林組合および東白川製材協同組合と連携し、地域ブランドである「東濃ひのき」の認知を広めることにより、地域経済の活性化を目指しています。また調達後に余ってしまった端材もむだにしない「木のおたのしみBOX」の取り組みもしています。地域の方にDIYなどに活用してもらうため施設内にBOXを設置し無償提供をしています



SDGs経営に向けた自者の課題や悩み

日本の多くの森では、木材用として育てている木を適切に管理する体制が十分に出来ていません。その原因の一つに、昔に比べて、家づくりに使う国産木材の量が減少しているという実情があります。国産木材の消費の低迷は、当然のことながら林業の低迷につながり、その結果、自然と調和するべき森が機能しなくなりつつあるのです。子どもたちの未来に豊かな環境を残すため、森を育むことはとても大切なことです。日本の森のために私たちができる活動の一つとして、「使う」と「植える」の循環が適正に行われるための取り組みには大きな意義があるということ、できれば多くの方に知っていただきたいと思っています。